
涙

ジラーが笑った日

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

涙

【Zコード】

N7168M

【作者名】

ジラーが笑つた日

【あらすじ】

人の身体が思う事。

5年以前のものです . . .
馳文、お許し下さい

多分書き直しはしないです

人の身体が泣けなくなつたら、死んじやう。

人の腕を押されたら、血が止まつて行く。そしたら手は寂しくて、家族の証が欲しくつて。押されたモノを外せば、また血が戻つて嬉しくて。真つ赤になつて泣いちゃつて、熱い涙を流すんだ。そして二度としない様に、同じ悲しみ感じたくないで、腕を叩いてしかつてる。

人が刺されてしまつたら、消えるのが怖くて泣き出すんだ。真つ赤な血の熱い涙を流し、流し、泣き出すよ。嫌だ、嫌だと身体を叩き、最後は諦め、死んじやうんだ。

真つ赤な涙も冷えて行き、熱い身体の熱も逃げ。家族の証を身にまとい、身体の涙は涸れたんだ。

人の身体が泣けなくなつたら、死んじやつた。熱い涙が流せなくなつて、身体は冷たいままになる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7168m/>

涙

2011年1月20日04時30分発行